



福島大学
 公式マスコットキャラクター
 めばえちゃん

特報

- ・新設 食農学類(仮称)
- ・福島大学リニューアル計画
 についてお知らせします。

2017.10.12(木) 進路担当者との懇談会in仙台

要申込

主催 福島大学アドミッションセンター(入試課) TEL.024-548-5181

時間 13:30開会(受付13:00~)

会場 仙台ガーデンパレス2階「鳳凰」

仙台市宮城野区榴岡四丁目1番5号(JR仙台駅東口より徒歩3分)
 TEL.022-299-6211

第1部(教員対象)

13:40	高大接続改革を取り巻く状況について ① 福島大学リニューアル計画について 眞田哲也 副学長(入試担当) ② 2017年度入試分析&今後の入試改革トレンド 中村尚三 アドミッションセンター副センター長
14:50	食農学類(仮称)の設置構想について
15:20	本学学生による大学生活紹介
15:40	質疑

第2部(教員・高校生・保護者対象)

16:15	各学類との個別懇談・相談(希望者のみ) 本学学生による大学生活紹介・相談
18:00	閉会



※会場には駐車場がございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

第2部は高校生ならびに保護者の方も参加可能です。

申込期限
10月6日(金)

FAXにてお申し込みください。▶▶

返送FAX番号



024-548-8551

(福島大学入試課行)

学校名			
ふりがな			
代表者氏名			
職名	参加予定人数	教員	人 / 生徒
			人

※ご記入いただきました個人情報は、本学の責任において当相談会の出欠情報として管理し、今後大学情報のご案内以外の目的で使用することはありません。

この教育カリキュラムは2018年度入学生までのものです。
2019年度入学生向けのカリキュラムは現在構想中で、その一部を当日ご紹介いたします。

人間発達文化学類



学校教育や地域社会の課題を見据え、「人間発達」と「文化」という視点から教育・研究にアプローチします。実践力を重視した授業科目などによって「人と文化のエデュケーター」を育成します。学生の意志を重視した教員免許状選択制を採用しています。

人間発達専攻

人間の発達過程や多様性などを学びながら、教育者としての価値観や態度を身に付けます。

文化探究専攻

言語文化、地域文化、生活科学、数理科学の各学問内容を深め、領域相互の関連性や応用性を追究します。

スポーツ・芸術創造専攻

「競技力」の向上や生涯スポーツへの関わり方、芸術思想や表現技術について学びます。

行政政策学類



地域社会が直面しているさまざまな課題について、法学、政治学、行政学、社会学など、広く学際的な観点から学ぶことを通じて、「地方の時代」「分権化の時代」のニーズに応えることのできる人材の育成をめざします。

法学専攻

憲法、民法、刑法などの基本的な法分野のほか、地方自治法、環境法なども学びます。

地域と行政専攻

政治学・行政学を基礎として、町づくりやコミュニティ形成など、身近な地域課題の取り組みについて学びます。

社会と文化専攻

教育、歴史、ジェンダー(社会的・文化的な性差)、比較文化など、幅広い学問領域を学びます。

経済経営学類



地域に根差すことの大切さと、経済や経営を学ぶために必要な国際的な感覚を磨くため、必要最低限の経済と経営のリテラシーを身に付けることから始め、積み上げ式の学習に取り組みます。

経済分析専攻

経済の動きを客観的に分析・評価する論理的思考とデータ分析力を身に付けます。

国際地域経済専攻

経済学的素養を備えた、地域と世界をつなぐことができる人材を育成します。

企業経営専攻

論理的思考力を身に付け、企業経営におけるカネの問題からヒトの問題まで幅広く研究します。

共生システム理工学類



人・産業・環境の共生という分野横断的な切り口から、少子高齢化や地球環境、エネルギー問題など、21世紀の諸課題の解決に挑戦しています。人間支援システム、産業システム工学、環境システムマネジメントの3専攻制です。

人間支援システム専攻

情報科学、電子工学、機械工学など、人間支援システムの開発に必要な基礎科学を学びます。

産業システム工学専攻

省資源・循環型産業システムの開発をめざして、材料化学、エネルギー工学、経営工学など必要な基礎科学を学びます。

環境システムマネジメント専攻

フィールドワーク(実地調査)などを踏まえて、自然資源の浄化・確保・管理計画について研究します。

※仕事に必要な専門知識を修得したい、広い教養を身に付けたい、自分の生活・人生を見つめ直したい…。社会人のそうした願いに応える「夜間主コース(現代教養コース)」を設けています。社会人のニーズに沿ったカリキュラムとして、人間発達文化学類の「文化教養モデル」、行政政策学類の「コミュニティ共生モデル」と「法政策モデル」、経済経営学類の「ビジネス探究モデル」の4つのモデルがあります。

